

科目	在宅看護技術	時期	2 年次前期	単位数	1 単位	実務経験
		担当教員	上野真佐美	時間数	30 時間	○（看護師）
目的	健康課題を抱え、そのリスクの高い人々やその家族に必要な医療的ケアと看護援助の方法、対象者の状態に合わせたケアシステムの基本を学ぶ。					
目標	1. 呼吸・排泄・栄養に関する医療的ケア技術が説明できる。 2. 呼吸管理・褥瘡管理に関する医療的ケア技術が説明できる。 3. 生活上の事故を防止し、地域・在宅看護実践に伴うリスクの特徴を理解し、必要なリスクマネジメントが理解できる。 4. 災害が地域や在宅療養者に及ぼす影響を理解し、地域の医療福祉行政機関と連携した災害マネジメントが理解できる。					
学習内容	1. 医療ケアの原理原則 2. 薬物療法・がん外来化学療法 3. 生活の場における医療的呼吸管理① ・呼吸のアセスメントや呼吸リハビリテーション ・肺痰ケア・気管カニューレ管理 4. 生活の場における医療的呼吸管理② ・在宅酸素療法(HOT)・在宅人工呼吸療法(HMV) ・非侵襲的陽圧換気療法(NPPV) ・在宅人工呼吸療法(HMV)： 気管切開下間欠的陽圧換気療法（TPPV） 5. 生活の場における医療的排泄の援助① ・排尿ケア・ストーマ管理 ・在宅 CAPD 管理 6. 生活の場における医療的栄養管理 ・在宅経管栄養法（HEN）の管理と家族への教育 ・輸液管理(在宅中心静若栄養法・末梢静脈栄養法) 7. 生活の場における褥瘡管理 ・褥瘡アセスメントやリスク管理 ・適切な局所治療と創傷管理 ・衛生材料の調達・管理と家族への教育 8. 足病変のケア・インスリン自己注射 9. 疼痛管理 10. 事例で学ぶ看護技術① 11. 事例で学ぶ看護技術② 12. 在宅療養を支える健康危機・災害対策 ・在宅療養における健康危機 13. 地域包括ケアシステムにおける健康危機・災害対策 ・訪問看護師における健康危機・災害時対応					
授業形態	講義、演習					
教材	ナーシング・グラフィカ地域療養を支えるケア地域・在宅看護論(2) メディカ出版 配布資料					
評価	終講試験					